

# 南消防署 15m級はしご付消防ポンプ自動車仕様書

## 第1 総則

### 1 仕様

本仕様書は、吹田市消防本部（以下「当本部」という。）が、令和6年度消防車両更新事業として購入する、南消防署15m級はしご付消防ポンプ自動車（以下「はしご車」という。）の仕様について定める。

### 2 関係法規

このはしご車は、本仕様書に定めるものの他、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱及びはしご自動車の安全基準に定められた規格に適合するもので、道路運送車両法等関係法規に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。

### 3 承認図

当本部との契約業者（以下「艀装業者」という。）は、はしご車のシャシ及び艀装製作にあたり、下記の書類を承認図としてA4ファイル綴りで2部提出し、承認を受けたのち制作を開始すること。

なお、承認図提出前に当本部と製作車両の艀装について十分協議し、当本部の仕様を十分に反映させること。

- (1) 一般艀装図（五面図「正面・左右側面・後面・上面」）
- (2) 各機構装置図
- (3) はしご油圧系統図
- (4) はしご構造強度計算書
- (5) 車両安定度計算書（使用限界、各方向旋回時、傾斜時、風圧時及び梯上放水時）
- (6) 積載資機材配置図
- (7) オーバーヘッド・センターコンソール・リヤルーフ取付艀装図
- (8) 艀装骨格図
- (9) ポンプ配管図
- (10) 電気系統図
- (11) 軌跡図
- (12) 製作工程表
- (13) その他当本部の要求する書類

### 4 疑義

本仕様書並びに製作中に疑義が生じた場合は、早急に当本部の指示を受け処置すること。

### 5 車両管理

艀装業者は、納車するまでシャシ納入業者と連絡を密にして十分な打ち合わせを行い、相互協力のうえ工事の円滑を図ること。

また、車両の管理には細心の注意をはらうこと。車両の管理中に不都合な箇所が発生した場合は、早急に原状回復させるとともに当本部へ報告すること。

## 6 留意点

製作にあたっては、特に次の点に注意すること。

- (1) 軽量、頑丈、優美であること。
- (2) 積載品は取付け取外し、収納及び取り出しが容易に行えること。
- (3) 艀装製作全般にわたり、厳重検査を実施すること。
- (4) 本仕様書で明記していない箇所で、艀装するうえで当然すべきことは艀装業者で責任を持って実施すること。
- (5) 同等品以上を使用する場合は、入札日までに機種本体及び仕様を示す資料を当本部へ掲示し、審査を受けること。同等品の解釈は当本部の判断によるものとする。

## 7 検査

艀装業者は当本部が実施する下記の検査に立ち会い、検査において不都合な箇所を発見の際は、速やかに処置すること。

なお、検査に係る一切の費用を負担すること。検査は当本部の検査員が2名から3名で実施するものとする。

- (1) 中間検査 シャシ、艀装
- (2) 完成検査 シャシ、艀装（転覆角度測定検査・重量測定検査）  
※はしご操作及び走行については納車時に各機能試験を実施するものとする。

## 8 責任の所在

設計、製作材料等について、特許、その他権利上の問題が起こったときは、艀装業者がその責任を負うこと。

また、納入後に発生した艀装箇所の不具合についても、シャシ側、艀装側を問わず艀装業者が一切の責任を負うこと。

## 9 新規登録検査

完成車は、積載予定器具等を全装備し、運輸支局で新規登録検査を受け、合格後、燃料タンクを満量にして当本部へ納入すること。

艀装業者は、シャシ納入業者と協力して新規登録に関する事務の一切を行うこと。

なお、車両以外に積載品等、届出や申請が必要なものについては、艀装業者にて全て負担すること。

## 10 保証

保証期間は、艀装完成車納入後2か年とする。ただし、設計不良、材質等に起因する不都合な箇所を発見の際は、保証期間後であっても無償にて取替え又は修理を行うこと。

また、納入後、当本部が指定する日時においてはしご車保守点検を無償にて1回実施すること。

## 11 提出書類

完成車納入の際は、次の書類を提出すること。

- (9)、(10)を除く書類については、A4サイズのファイル1冊(2

部)に綴り当本部へ提出すること。書類が4部あるものについては、2部ずつに振分けファイルに綴ること。

- |   |     |
|---|-----|
| (1) 車両取扱い説明書  | 2部  |
| (2) 自動車検査証の写し   | 2部  |
| (3) 各種構造及び取扱い説明書  | 2部  |
| (4) 各種構造及び取扱い説明書  | データ |
| (5) はしご性能試験成績表  | 2部  |
| (6) はしご構造強度計算書  | 2部  |
| (7) ポンプ性能試験成績表  | 2部  |
| (8) ポンプ受託試験プレート写し                                       | 2部  |
| (9) 納品書・納品内訳明細書   | 各2部 |
| (10) 請求書・請求内訳明細書  | 各2部 |
| (11) 写真 (A4紙1枚に前後(ナンバープレート入り)<br>・左右・の写真4枚を収めカラー印刷したもの) | 4部  |
| (12) 転覆角度測定証明書・重量測定証明書                                  | 各1部 |
| (13) 各種資機材取扱い説明書  | 2部  |
| (14) 特殊装置、積載器具のパーツ販売・修理・点検先住所、<br>電話番号等の一覧表             | 2部  |
| (15) 完成車両外観図  | 2部  |
| (16) 資機材等配置図  | 2部  |
| (17) その他当本部の要求する書類                                      | 2部  |

## 12 納入期限及び納入場所

納入期限は、令和7年3月31日(月)とし、納入場所については、当本部が別途指示する。

## 13 その他

- (1) 本仕様書に明記されていない点は、各艀装業者公表の標準仕様とすること。
- (2) 納車日から1週間以内に、シャシ取扱い説明を1回以上、はしご操作要領、はしご整備要領、ポンプ操作装置の取扱い説明を2回以上実施するほか、納入資機材で当本部が取扱い説明を必要とするものについても実施すること。

なお、資機材の取扱い説明については、当本部の車両運行開始日までに艀装業者が資機材納入業者と調整を行い実施するものとする。

## 第2 車体構造

### 1 完成車両諸元

完成車両の諸元は、道路狭あい地域を克服できるように次のとおりとするが、可能な限りコンパクトに仕上げること。

- (1) 全長 7,300mm以下
- (2) 全幅 2,320mm以下

- (3) 全高 3, 450mm以下
- (4) ホイールベース 3, 750mm以上
- (5) 乗車人員 6名以上
- (6) 車両総重量 10, 990kg未満 厳守

## 2 シャシ関係

### (1) シャシ

国が示す15m級はしご付消防ポンプ自動車の艤装が可能で、ディーゼルエンジン・オートマチックミッションを搭載した、ダブルキャブオーバー型5.5t級消防専用シャシ、低床型4輪駆動車とし、ポスト新長期の排ガス規制をクリアした次のメーカー公表の最新型車とすること。

参考：日野製 5.5トンシャシ又は同等品以上

### (2) 主要諸元

- ア オルタネーター 24V-90A
- イ バッテリー 車載可能な最高容量（納車時新品）
- ウ 乗車定員 6名以上
- エ 検定出力 210Ps以上
- オ 燃料タンク 66ℓ以上
- カ エンジン回転計
- キ エンジン油温計
- ク ブレーキ ABS装置
- ケ オイルパンヒーター 差込部は車外コンセント・コード15m付
- コ 間接冷却器
- サ オイルクーラー
- シ バックモニター ルームミラー型
- ス 広報用装置 AM・FM DEH-970
- セ サイドミラー ワイドビュータイプ、助手席電動格納式
- ソ 隊長席用後方確認ミラー
- タ ドライブレコーダー
- チ キャブチルト装置
- ツ 音声アラーム
- テ 後退警報器
- ト バッテリーメインスイッチ
- ナ LEDヘッドライト
- ニ 動力取出装置PTO（トランスミッション、ポンプ用フルパワー）

## 第3 概要

### 1 車体概要

この15m級はしご付消防ポンプ自動車は、ダブルキャブの後方にポンプ室、800ℓ以上の水槽及び器材収納庫を備えた車両とし、かつ、全自動油圧駆動式の3連全伸長15m直進式の梯子、その駆動装置、安全装置及びはしご先端にバスケットを設けた車両であること。

また、各資機材を安全迅速に取出し出来る構造とし、資機材収納庫は可能な限りアルミシャッター（バーハンドル）式とすること。

なお、車両後部は、鋼鉄材を用いた構造とすること。

## 2 キャブ

- (1) ダブルキャブの4ドアで、全席にシートベルトを設け、後部座席前到手摺りを取付けすること。

また、ルーフ、ボディ及びドアは鋼板製で、各ドアはヒンジ部を強固なものとし、折損、脱落等の恐れがない構造とすること。

- (2) 各ドアのロックは全席電気式集中ドアロックとすること。

- (3) キャブ内には運転席、助手席の間にセンターコンソールを設け、上面には、各電装品関係SW、装備装置警告灯、サイレンアンプ（マイク含）、無線機（受話器含）、傾斜角度計、ACコンセント2口及びLED照明灯を取付けすること。※詳細別途協議

センターコンソール側面には、無線機スピーカーを埋め込み式で設ける他、艀装ヒューズ一式（名称、アンペアを記入）を収納すること。

また、センターコンソール後方には、可能な限りの大きさと収納ボックス（パンチングボード使用）及び携帯拡声器用ブラケット1か所を設ける他、センターシート下部には、スペースを有効活用するため、収納BOXを取付けすること。※詳細別途協議

- (4) エッチングプレートを、オーバーヘッドコンソール付近に取付けすること。

- (5) キャブチルトは電動油圧ポンプ式とし、チルトされたキャブは指示棒により確実に固定することができるものとする。

また、チルト操作を、当車両から2m以上離れた位置より有線リモコン（取外し可）を使用し、安全に実施することができるものとし、誤操作時に操作ができない安全装置を設けたものとする。

なお、指示棒の設定する位置に黄色で塗色すること。

- (6) キャブ内後部には、空気呼吸器用クイックホルダー3器を設け、それ以外の部分には、フック及びスペースを有効活用した物入れボックスを設けること。

また、キャブ後面窓ガラスには、呼吸器クイックホルダーと干渉しない位置にステンレス製の保護枠を取付けすること。

なお、フックについては面体が吊り下げ可能なものとする。

- (7) 後部座席前方の手摺り中央部には、A3サイズ地図入れ収納箱（全面パンチング）を設け、左右側面に深さ30cm程度の安全誘導灯ブラケット取り付けすること。

また、後部座席前手摺り下部は、助手席後方及び収納箱取付け位置を除き、パンチングボードを取付けすること。

- (8) キャブ内天井部分には、ルーフセンターコンソール（床板パンチングメタル）及びリヤルーフ網棚を設ける他、前後左右に、スペースの許す

限り収納ネットを取付けすること。

- (9) 室内照明灯として、天井部分にLED照明灯を埋めこみ式で2箇所取付けること。

なお、入切スイッチは左右に各1箇所設置し、階段式とすること。

- (10) 助手席及び後部席左右には蛇管式の自在型LEDマップランプを取付けすること。

- (11) 前扉フェンダー及び各ドア開口部（下部）は、保護板を取付けすること。なお、各ドアには、開閉連動式LEDフットランプを設けること。

- (12) 消防章（150mm）を、車体前面シャシメーカーロゴマーク内に取り付けすること。

- (13) キャブ左後方に旗立てパイプ（水抜き、ロック付き）を設けること。

- (14) フロントバンパーは、シャシ機器保護のため大型バンパー（スポイラー付き）とし、サイド延長すること。

- (15) フロントバンパー上部には、整備足場用としてアルミ縞板を取付けすること。なお、バンパーの張出しは、必要最小限とすること。

また、バンパー足かけ部にもアルミ縞板を取付けすること。

- (16) キャブ上部の赤色警光灯取付け部にアルミ縞板台座を設けること。

なお、キャブ天井部はデッキ仕様とせず、赤色灯台座のみ設けること。

- (17) キャブ内に設けたSW等については、当本部が指示する名称表示を行うこと。

#### 4 座席

助手席は、1名掛け埋め込みシート（キャビティカバー付）とすること。

後部座席は、背もたれ上下式厚型台座の折畳みシート（ダンパー付）とすること。

#### 5 側板

ボディ側板は、一般構造用圧延鋼材を使用し、周辺を折り曲げ加工とすること。

#### 6 ステップ、手摺り

- (1) 前部ドア下部及び後部ドア下部に、乗降用ステップを設けること。後部ドア用は、ボディ同色箱型ワイドステップとし、可能な限りの大きさと設け、十分な強度を確保すること。

また、ステップは乗降時の安全を確保するため最下段を低い位置に設け、ステップ上面に滑り止め加工を施したものとすること。

- (2) キャブ内への乗降が安全に行えるよう、センターピラー及び後部ピラーに手摺りを取付けること。

また、キャブ内センターピラー内側に乗降用インナグリップを取付けすること。

- (3) 資機材の積み降ろしが容易にできるように、車両左右及び後部エプロンに有効なステップ及び手摺りを取付けること。

- (4) 車両上部には、下部からアクセスする際、有効に活用できる手摺りを

設けること。

(5) その他、当本部が指示する箇所にステップ及び手摺りを設けること。

#### 第4 はしご構造関係

##### 1 はしご諸元及び性能等

- (1) 規格地上高 15 m以上 (全伸長時 起立角度75度)
- (2) はしご段数 直進式3段
- (3) 横棧間隔 350 mm程度
- (4) 起立角 -10度~75度
- (5) 旋回角 360度
- (6) 範囲 (アウトリガー張出幅)
  - ア 9.5 m (1.75 m以上)
  - イ 7.5 m (1.5 m~1.75 m未満)
  - ウ 5.5 m (最小張出~1.5 m以下)
- (7) はしご作動時間 (油圧ポンプ回転数1, 200 rpm以下において)
  - ア 起梯 (収納状態から最大起立まで) 約50秒
  - イ 伏梯 約50秒
  - ウ 伸梯 約40秒
  - エ 縮梯 約40秒
  - オ 旋回 約60秒
  - カ バスケット許容積載荷重 200 kg

##### 2 はしご本体

はしご本体は、高張力鋼材を使用し、箱型及びパイプ等の閉断面材を電気溶接によってトラス構造に組み立てたものとする。

また、軽量かつ、静荷重及びねじれ荷重に対して十分な強度を有するものとする。

##### (1) はしご動作等

- ア 使用範囲内で起伏、伸縮及び旋回のいかなる操作を行っても、大きな騒音や振動等の異常がなく、安全で円滑な動作ができるものとする。
- イ はしご本体の各部に、ローラー及びパット材を設け、はしご伸縮が円滑に行えるものとする。
- ウ はしご本体親骨には、蛍光黄の塗色を施し、横棧には、滑り止めゴム等の加工を施すこと。
- エ はしご最上段先端付近に控え綱用環、バスケットにサーチライト、インターホン用マイクスピーカー及び先端表示灯 (左右) を設けること。

##### (2) 計器等

はしごには、次の計器が装着されていること。

- ア 伸長計

- イ 起伏角度計
- ウ 傾斜角計
- エ 水準器
- オ はしご使用時間計
- カ 風速計

### 3 はしご駆動油圧装置

#### (1) 構造

シャシエンジンのトランスミッションPTOにより可変容量ピストンポンプを駆動する構造とし、それにより得られた油圧を使用して、はしごの起伏、旋回、傾斜矯正及びジャッキ・アウトリガー操作を行うことができるものとする。

#### (2) 作動油

作動油は、ストレーナー付き作動油タンクから油圧ポンプにより加圧された車両後方のジャッキ・アウトリガー用切換え弁又は、ターンテーブル中央の旋回接手を通り起伏、伸縮及び旋回用切換え弁に送られる構造とし、これら切換え弁の操作により各動作を行う構造とすること。

なお、これら切換え弁の中立時（はしご未作動時）には、油圧ポンプの吐出側に安全弁を設け、最大油圧（常用最大圧力14.0MPa以下）を超えないように調整するものとする。

※作動油タンクへ戻る配管にもフィルタを設けること。

#### (3) 補助油圧ポンプ

シャシエンジン又は、主油圧ポンプが故障した場合にあっても、はしごの収納を可能にするため主油圧ポンプとは別にバッテリー駆動のモーターポンプを装備し、手動切換え弁により収納操作ができる構造とすること。

### 4 ジャッキ・アウトリガー装置（車両支持装置）

(1) 車両の前後に、張り出し式のジャッキ・アウトリガー装置を設け、ジャッキを車両の前後左右に張り出す(最大張出幅ジャッキ中心間約3.6m)ことができ、はしご操作時の安定が図れる構造とすること。

(2) アウトリガーは、4本とも個別操作が可能とし、任意の位置に張り出すことができるものとする。

また、同時に4本操作が可能であるものとする。

(3) アウトリガーの張り出す部分には、夜間でも判別できるように黄色反射テープ等によりマーキングをするとともに、先端には張り出し時に自動点灯する警告灯を設けること。

また、格納時に車両と同一面となるジャッキカバーを設け、ジャッキ灯(LED照明装置付き)を取付けすること。

(4) ジャッキシリンダーの上部には、パイロットチェック弁を設け、万一油圧ホースや配管が破裂した場合においてもジャッキが縮まない構造とすること。



- (5) ジャッキ油圧回路には、減圧弁を設け、ジャッキの接地面とピストンロッドは自在関節で結合し、車両を無理に持ち上げない構造とすること。
  - (6) アウトリガーには、張り出し幅が目視できるよう識別塗装を施すこと。
- 5 自動傾斜矯正装置
- はしごと車両の間に、ジャイロ式ターンテーブルを設けること。ジャイロ式ターンテーブルは、はしごを水平に矯正する構造とし全方向に対して、最大7度の範囲で矯正できるものとする。その動作は、はしご収納姿勢の状態自動的に矯正完了するものとし、はしご操作時に矯正を要しないものとする。
- 6 起伏装置
- (1) 梯体と支持フレーム及びこれらのフレームを繋ぐ1本の起伏用油圧シリンダーにより構成され、梯体フレームにははしごを取付ける構造とすること。
  - (2) 起伏レバーを操作して、起伏シリンダーに圧油を送ることにより、はしごの起伏を行う構造とすること。
- 7 伸縮装置
- (1) はしご最下段に1本の伸縮用油圧シリンダーを固定し、はしご各段とシリンダー両端に設けたプーリーにワイヤーロープを取付け、はしごを伸縮する構造とすること。
  - (2) 伸縮レバーを操作して、伸縮シリンダーに圧油を送ることにより、はしごの伸縮を行うものとする。
  - (3) 起伏角度が低い場合でも縮梯できるように、引き戻し装置を設けること。なお、この装置は、走行時の飛び出し防止装置の役割を兼ねるものとする。
- 8 旋回装置
- (1) はしごは、起伏装置とともに、ターンテーブル上に取付けられたものとする。
  - (2) 旋回装置は、ターンテーブル内側の歯車と、ターンテーブル上面に設けられた、旋回用減速機付き油圧モーターに付けられた小歯車を組み合わせ、構成するものとする。
  - (3) 旋回レバーを操作して、旋回モーターに圧油を送ることにより、歯車のかみ合ったターンテーブルが旋回する構造とすること。なお、減速機にはメカニカルブレーキを設け、他力によってはしごが旋回しないものとする。
- 9 操作装置
- (1) はしご基部操作装置は、ターンテーブル上に液晶ディスプレイ式立席型操作装置（落下物防護屋根）を設け、起伏、旋回、伸縮用操作レバー、はしご姿勢表示装置、インターホン及び各種スイッチ等はしご操作に必要な装置を設けること。
  - (2) バスケット内操作装置は、バスケット本体内にボックス型操作装置を

設け、2本の起伏、旋回伸縮用レバー、各種表示ランプ、スイッチ及びインターホン等の装置を装備し、バスケット内ではしご操作が行えるものとする。

また、操作装置は誤操作防止のため、操作時に支障を来さない程度で、ガードを取付けすること。

- (3) はしごの起伏、伸縮及び旋回動作は、同時操作が可能な構造とすること。
- (4) はしご姿勢表示液晶ディスプレイは、基部操作装置立席前面に設け、アウトリガー張り出し幅に応じた作業半径と、現在のはしご姿勢を表示する構造とすること。
- (5) はしご収納時における、はしご支収装置を設けること。
- (6) ジャッキ操作装置、はしご作動状態及び収納等操作が可能な操作装置を後部エプロン部に設けること。

#### 10 バスケット装置

- (1) はしご先端に固定式のバスケット装置を装備し、車両走行時はバスケットをはしご前端部に収納する構造とすること。
- (2) バスケット平衡用油圧シリンダーを設け、はしごの起伏操作に合わせて常にバスケットの平行を保つ構造とすること。
- (3) バスケットには、65mm放水口（手前に専用分岐管を設け1箇所を使用）、放水銃（65mm短管銃・26Φノズル付き、結合部ネジ式）、圧力計、インターホン（マイクスピーカー）、自衛噴霧ノズル（開閉バルブ1箇所）、サーチライト（LED約45W相当型1個）、先端表示灯（オレンジ2箇所）、風速計及び前面に展開ステップを装備すること。
- (4) 手摺り高さは、1,100mm以上とすること。
- (5) バスケットの展開ステップは、展開させ地上に設置する高さにおいて、地上から、隊員が容易にロック解除できるものとする。
- (6) バスケット本体骨組には、蛍光黄の塗色を施すこと。

#### 11 はしご安全装置

はしごには、次に掲げる安全装置を設けること。

また、安全装置により、はしごが自動停止した場合は、安全側のみ操作ができる構造とすること。

- (1) はしご操作及びジャッキ・インターロック装置  
はしごが収納状態にある場合にジャッキ装置が操作でき、ジャッキが接地されている場合のみはしご装置が操作できる構造とすること。
- (2) はしご及び油圧シリンダー伸縮防止装置  
油圧配管及び油圧ホース等が破損した場合において、はしご及び油圧シリンダーが伸縮しない構造とすること。
- (3) はしご先端障害自動停止装置  
はしご起伏、伸長中及び旋回中において、はしごの先端部が障害物に

- 接近又は接触した場合、はしごを自動的に停止させる構造とすること。
- (4) はしご最終使用限界自動停止装置  
はしごを起伏及び伸縮させて、その使用限界に達した場合に自動的に低速になり、停止させる構造とすること。
- (5) 使用範囲自動停止装置  
アウトリガー張り出し幅に対して、起伏角及び伸長の度合いが、はしごの安全限界に達した場合に、はしごが自動的に停止する構造とすること。
- (6) 過荷重自動停止装置  
はしごにかかる荷重が一定限度に達した場合に、表示及び音による警報を発生し、はしごの運動を自動的に停止させる構造とすること。
- (7) 傾斜自動停止装置  
はしごの傾斜角が約1.5度以上になった場合、警報を発生して、はしごの運動を自動的に停止させる構造とすること。
- (8) はしご飛び出し防止装置  
走行時の急停車又は、坂道を下る場合には、はしごの飛び出しを防止する構造とすること。
- (9) 緊急停止装置  
緊急時において、はしごの運動を速やかに停止させる装置をいう。なお、緊急停止ボタンは、リヤエプロン部及びバスケット内操作部に設けること。緊急停止ボタンは、押しボタン式とし、操作状況を各操作部で確認ができるものとし、ボタンを押すことでロックし、はしご操作が停止するもので、再度ボタンを押し緊急停止状態が解除できるものとする。
- (10) キャブ保護装置（インターロック装置）  
はしごがキャブ、車両及びジャッキに接近した場合に、警報音を発生し、はしごの動作速度が自動的に低速になる構造とすること。
- (11) ジャッキ自動停止装置  
車両の左右の安定度が、危険な領域に達した場合に、警報音を発生する構造又は、ジャッキが浮いた場合に警報音を発生し、はしごが自動停止する構造とすること。
- (12) 旋回固定装置  
はしごが他力によって旋回しない構造とすること。
- (13) 車両支持装置の飛び出し防止装置  
車両が走行中に、ジャッキ及びアウトリガーが飛び出さない構造とすること。
- (14) 感電防止装置  
バスケット内隊員の感電を防止するため、送電線に近づいた場合に警報を発生する構造とすること。

## 第5 消防ポンプ艤装関係

### 1 放水能力

総務省令で定めるA-2級の規格に合格するとともに、次の数値以上の能力を有すること。

- (1) 規格放水圧力0.85MPaにおいて2.0m<sup>3</sup>/min以上
- (2) 高圧放水圧力1.4MPaにおいて1.4m<sup>3</sup>/min以上
- (3) アルミ製高圧一段ポリユートポンプとする。(インペラーは青銅鑄鉄)

### 2 取付け

ポンプは、シャシに堅ろうに取付け、振動等により移動、ゆるみが起こらないよう配慮すること。

また、左右ポンプ室側板は、内部点検が容易に行える露出型とすること。

### 3 軸受部

軸受部分については、不凍液等を使用しないメンテナンスフリーのメカニカルシール方式とすること。

### 4 ドレンコック

- (1) ポンプ本体下部にドレンコックを設け、排水が車両構造等にかからないよう配慮した構造とすること。
- (2) ドレンコックはPTOスイッチと連動式とすること。

## 第6 真空ポンプ

### 1 性能

真空ポンプは、無給油ピストン式真空ポンプとし、性能については、次のとおりとすること。

- (1) 吸管外端閉塞にて、30秒以内に大気圧の84%に達すること。
- (2) 漏気は、30秒間に1.3KPa以下であること。

### 2 動力伝達装置

駆動装置は、円滑に作動し振動や騒音が少なく、揚水完了後は自動で停止するものとする。

### 3 クラッチ

クラッチは、ポンプ揚水後ポンプ圧力が0.3MPaに達する前に自動的に離脱する構造であること。

### 4 排水

真空ポンプの排水は、手動ブレーキ、排気管及び電気配線等にかからないよう下方へ設け、シャフト下部まで排水管を取り付けること。

### 5 操作

真空ポンプの操作は、押しボタン式スイッチとし、車体左右に取り付けること。

また、非常用の別系統スイッチ及びメーターを車両右側に設けること。

## 第7 吸水装置

### 1 吸水口

吸水口は、75ミリのボールコック（ストレーナー付）をポンプ室両側に各1口設けること。

### 2 吸水管

右側面には、75mm×10mの軽量吸管及び吸水管用器具（スーパースイング）を接続し、車両収納庫内に収納装置を設け固定すること。

また、吸水管外端部には吸管引揚金具を取付けすること。

左側面には、消火栓媒介を取付けすること。

また、左側面用として75mm×2mの棒吸管5本を、ポンプ上部に平置き収納可能な台座を設けること。なお、水損防止用ポール収納台座と共用可能なものとする。

### 3 配管

吸水配管は、流水抵抗をできる限り少なくするよう努め、排水が完全にできること。

### 4 吸水装置

通水確認できる透明ボール付きのエゼクターバルブを左右に取り付けること。透明ボールは容易に取り外しできること。

## 第8 中継吸水口

### 1 中継吸水口は、65ミリのボールコック式（ストレーナー付）とし、ポンプ室両側に各1口を設けること。

また、中継吸水口には、中継用媒介金具を取付けすること。

### 2 パイプ、ボールコック等の排水が完全に出来る構造とすること。

## 第9 吐水装置

### 1 自動放口閉塞弁

(1) 吐水配管を外すことなく修理が可能な構造とする。

(2) 車体が傾斜しても自動的に閉じる構造とする。

### 2 吐水口

(1) 吐水口は、65ミリのボールコック式とし、ポンプ室両側に各2口設けること。

また、吐水口には放口媒介金具を取付けすること。

(2) ボールコックは高圧においても容易に開閉操作ができ、排水が完全に出来る構造とすること。

### 3 吐水配管

(1) 流水抵抗の少ない構造とする。

(2) 配管の排水が完全に出来るような構造とすること。

## 第10 冷却水配管

### 1 水源

エンジン及びギヤケース冷却のため、冷却水配管を吐水配管より取出し設

けること。冷却水を水槽に戻すための装置を取付けること。

## 2 配管

配管は1系統にまとめ、1個のバルブで調整できること。

## 3 予備回路

バルブは、予備回路を設け、それぞれにストレーナーを設けること。

# 第11 ポンプ操作装置

## 操作機構

- 1 車両左右に、圧力計、連成計、ポンプスロットル、真空ポンプ作動、停止スイッチ及び多目的液晶表示装置（以下「液晶ディスプレイ」という。）を一体化した操作盤を設けること。
- 2 圧力計、連成計及びポンプスロットルは電子式とすること。
- 3 各操作レバー、スイッチ及びコック等の付近には、ネームプレートを取付けること。
- 4 各配管とも完全に排水できるようにドレンコックを取付けること。ドレンコックは操作員が容易に操作できる位置に設けること。
- 5 流量計装置をポンプ室右側第1、2放口、左側第1、2放口ボールコック配管のポンプ側に流量検出部を設けること。
  - (1) 流量検出部は、吐出配管の直管部分（可能な限り長くする。）に設け、清掃等が容易に行えるように設けること。
  - (2) 流量表示等も液晶ディスプレイ内に表示すること。
- 6 自動調圧装置を取り付けること。
- 7 水量計を液晶ディスプレイ内に表示すること。

# 第12 水槽

- 1 容量は、800ℓ以上で腐食に強いアルミ製水槽を設け、水槽左右に各1箇所（差込メス金具）積水口（受口キャップ、クサリ付）を設けること。
- 2 水槽上部にマンホールを設け、メンテナンスが容易に行えること。  
また、水槽下部にはドレンバルブを設けること。
- 3 水量計は左右に設けること。水量の確認が容易にできる水量計（ゲージ式・100ℓ毎の目盛付き）を設けること。
- 4 オーバーフロー用パイプを設けること。
- 5 水槽からポンプへの配管及び吸水コックは内径75mm以上とする。
- 6 水道水から補給できるように、水道水補給用媒介を2個付属すること。

# 第13 資機材収納庫及び収納箱

## 1 共通事項

- (1) 収納庫及び収納箱は、本仕様書記載の資機材が積載できるよう空間を

無駄なく活用し、重量配分等に考慮した設計をすること。

また、取付け品は走行中に移動、脱落及び破損がないようその特性を考慮して確実に取付けすること。収納庫に棚を設ける箇所については、可能な限り可動式とし、仕切りを設ける場所はパンチングボードを使用すること。 ※詳細別途協議

- (2) 積載資機材は、個人装備品を装備した消防隊員が、安全かつ迅速、確実に取出し及び収納ができること。
- (3) 底部には、樹脂製のスノコ板等の保護材を必要箇所に敷き、水等が溜まらないよう排水口を設けること。
- (4) 収納庫に使用するシャッターは、走行中に異音を発することや、資機材収納庫内に雨水等が入ることのないように高品質パッキンを使用すること。
- (5) シャッター式扉及び展開ステップ式扉については、施錠機能付二重ロック構造とし、シャッター及びその他大型扉の開閉状態が確認できるパイロットランプをキャブ内に設けること。
- (6) 各収納ボックス内を有効に照らすことができる、扉及びシャッターの開閉と連動したLED照明装置を設置すること。なお、シャッター部等については、レールを活用した照明装置とすること。  
また、必要な箇所には単独スイッチを設けること。

## 2 キャブ後部ポンプ室収納庫

左右ともに、大型シャッターボックス（バーハンドル）とし、下部はステップ兼用引下げ扉とすること。

### (1) 左側面ポンプ室収納庫

左側面は、シャッター及びステップ兼用扉で上下に区分し、下部は収納コンテナBOXにて左右を区分すること。

上部は、キャブ側側面にステーを設け、ポンプ操作盤側板に取外し可能なバーを渡し、S字フックを取付け救助用ロープ（30m×2、20m×1、10m×1）が収納できるようにすること。

後部側側面には、パンチングボードを貼付けし、S字フックを5か所以上設けること。

### (2) 右側面ポンプ室収納庫

右側面は、空間スペースに吸管まくら木、吸管控え綱、塵除け籠、媒介金具、吸管スパナ2本及びポンプ工具を取付けすること。

## 3 後輪タイヤハウス上部収納庫

### (1) 左側収納庫

左側収納庫は、可能な限りの大きさとし、赤尾製ホースバック（特殊ノズル「クアドラ」1、媒介金具、40mmホース2本及び65mmホース【3m】1本）が収納可能な収納庫とすること。

また、空間スペースをキャブ側に設け、2段に区分し、下段に燃料携行缶（5ℓ）を収納すること。上段には、収納コンテナBOXを設けるこ

と。

#### (2) 右側収納庫

右側収納庫は、2か所に区分し、キャブ側にはYONE製ホースバックが収納可能な収納庫とすること。後方収納庫は、奥行をとり、スタンドパイプ及び地下式消火栓金具を収納すること。

#### 4 左右後輪後部収納庫

収納庫内に、65mmホース6本、eノズル65mm1本及び分岐管1式（左側面は台座のみ）が収納できるよう艤装すること。

また、左側扉内側には、クリッパー及びグラスマスターを取付けし、右側扉内側には、吹田市専用消火栓キー、水槽用バールキー、地上式消火栓キー及び金てこを取付けすること。

#### 5 ポンプ室上部

##### (1) ポンプ室左上部

ポンプ室左上部には、アルミ縞板製でBOXを設け、エンジンカッター一式（替刃、燃料携行缶）を収納し、BOX蓋裏に斧を取付けすること。

##### (2) ポンプ室右上部

ポンプ室右上部には、平置き収納で、発動発電機、コードリール、投光器、三脚を、ブラケットを設け取付けすること。なお、資機材カバーは可能な限り一纏めとしたものとする。

##### (3) ポンプ室中央上部

ポンプ室中央上部は、キャブ側に、左右ポンプ室大型シャッターボックス上面を渡すかたちで水損防止用ポール8本及び棒吸管5本が収納できる台座及び固定装置を設けておくこと。それ以外のスペースは、ポンプ点検口及び2段手摺り等を設け、フリースペースとしておくこと。なお、フリースペースには、サイズが適合するRVBOXを固定できるバンド等を設けておくこと。

※当本部が指示する資機材にはカバーを取付けすること。

#### 6 水槽側面左右収納庫

左右収納庫は、車体側面に扉を設け、カラーコーン及びジャッキ敷板各2式を収納すること。

また、左右収納庫外の後方部には、アングルを設け、左側には、車輪止め1式を収納し、右側には、コンパクトブリッジ1式を収納すること。

なお、ポンプ室上部に収納できない資機材がある場合は、固定装置を設け収納すること。

#### 7 ターンテーブル上収納庫

収納庫を設けフリースペースとすること。

また、梯体ホース用スパナ2本を外面に取付けすること。

#### 8 ターンテーブル後方

梯体用ホース65mm×15m1本を島田折りしたものが収納可能な台座を設けること。なお、ホースカバー及び固定装置を設けたものとするこ



と。

#### 9 梯体側面

梯体最下段側面に、とび口2本、かぎ付きはしご、耐電フック棒及び振り子式角度計バランスよく取付けすること。

#### 10 その他

上記以外で、当本部が指示する資機材について、スペースを最大限有効活用し取付け及び収納すること。

### 第14 外装部

#### 1 塗装

車両鋼材部分の下地塗装は充分錆落としの上、防錆性能が高く長期にわたり錆の発生を防ぐ二液型エポキシプライマー（ハイパーエポキシプライマーSSM）を使用し、パテ、サフェーサ（ウレタンプラサフSSM）を施工後、十分に乾燥させてから、ハイソリッド型ウレタン樹脂消防色朱色塗料により2回以上の塗装を実施し、その上には光沢と耐候性向上のためクリア塗料（ハイパークリアLW）を2回以上施すこと。塗装後は磨き作業により塗装表面を整えること。（タイヤホイールは除く）

なお、アルミシャッター及びシャシフロントマスクのグリル等についてもハイソリッド型ウレタン樹脂消防用朱色ウレタン塗装を施すこと。

#### 2 その他の塗装

シャシフレーム等は、メーカー標準色、器材収納庫は、シルバーの塗装で、入念に吹付塗装を行うこと。

#### 3 ネームプレート及び明示ステッカー

各操作装置類には、永年使用により文字が消えないプレートを張ること。艀装部分において、強度等の制限がある場合は、許容荷重等をステッカー等で明示すること。

#### 4 塗料は環境に配慮され、労働安全衛生法に基づき定められた特定化学物質障害予防規則対応品を使用すること。

#### 5 ポンプ配管は防錆性、防食性に優れたカチオン電着塗装とすること。

### 第15 艀装材料・厚さ

#### 1 艀装材料

材料は、すべて日本工業規格に基づいて精選された耐久性に富むもので、国が行う補助の対象となる消防施設の規格に示す強度以上のものであること。

#### 2 厚さ

厚さは、国が行う補助の対象となる消防施設の規格に示す数値とし、ステップ、リヤフェンダー上部及びその他必要とする部分は、縞鋼板とすること。

## 第16 特殊艤装

### 1 共通事項

- (1) 重要保安箇所は、点検整備が容易に行える構造とすること。
- (2) 各装備品の電気配線等については、キャブ内張りを通すものとし、キャブ本体の貫通部は、雨水等の漏水を防止する構造とすること。
- (3) アルミ、ステンレス材を固定するボルト、ワッシャー類は可能な限りステンレス製とし、直接骨材等に取り付ける場合は防水処理を施すこと。
- (4) 床板及び各ステップについてはアルミ縞板で艤装すること。

### 2 バッテリー

バッテリーは、点検が容易にできるように引出式とすること。

### 3 後部座席下収納

- (1) 収納庫には、小型充電器及びインバーター本体を取付け、それ以外のスペースに小物が収納できるようにすること。

また、小型充電器のランプが確認できるよう艤装すること。

※位置等別途指示

- (2) 精密機器を取付けるため、上部及び左右を鉄板等で機器を保護することとし、その他に収納した小物等が容易に取り出せるような構造とすること。

### 4 後部呼吸器下収納

空気ボンベ4本が収納でき、呼吸器を取り外すことなく、背もたれ側より出し入れが可能なものとする。なお、収納庫上面はマット張りとする。

### 5 オイルパンヒーター及び小型充電器[WCMXS 50 JP\_CTEK]

- (1) オイルパンヒーター及び小型充電器を設置し、オイルパンヒーターコードの差込口は蓋付のボックスとして、マグネットにより脱着できるように改造すること。
- (2) コードは漏電、感電しない構造とし、コードの自重で脱落しない構造とすること。
- (3) 差込部は車外マグネットコンセント・コードで1.5mのものとする。
- (4) オイルパンヒーターコード接続により、小型充電器からバッテリーの充電ができるように取付けること。
- (5) オイルパンヒーターコード接続時に、小型充電器及びオイルパンへ通電していることを確認できるランプをそれぞれ運転席付近に設け、容易に視認できるものとする。※位置等は別途指示
- (6) オイルパンに接続するラインには、「入切」スイッチを設けること。  
ただし、オイルパン入り切りに関係なくバッテリーへの充電は行えるようにすること。※位置等は別途指示

### 6 メインスイッチ

メインスイッチは、バッテリーから直接電力を供給されているもの以外はメインスイッチOFFですべて切断できるものとする。

- (1) メインスイッチを運転席付近に取付けること。
  - (2) メインスイッチはON、OFFが明確に視認できるランプを取付けること。
  - (3) 各種艤装電装品は、メインスイッチON⇒キーONで使用可能となり、キーOFFで使用不可となるように配線すること。  
なお、無線機のみ、メインスイッチON⇒キーACCで使用可能となり、キーOFFで使用不可となるように配線すること。  
※シャシで標準装備されているメインスイッチがある場合は、メインスイッチの取付けは不要とする。
- 7 電源コンセント
- 交流電源が使用できるようにインバーターを設置し、AC100Vの電源コンセント2か所（4口）設けること。なお、1か所はキャブ内コンソールに配置し、もう1か所は後部座席付近に配置すること。  
（合計使用電力350W以上 取付け位置は別途協議）
- 8 保護板、反射シール及びテープ式LED
- すべての艤装箇所において、隊員の乗降、器材の積み降ろし等により、塗装箇所に損傷を与える恐れがある所には、アルミ製保護板を張付けること。  
また、キャブドア側面、下部には反射テープ及びLEDフットランプを取付けすること。
- 9 デパーチャーアングル
- 狭あい道路走行時の操作性を考慮し、車体後端左右は隅切加工を施すこと。  
また、坂道走行を考慮し、車体後部はデパーチャーアングルを設け、車両最後部の補強を行うこと。
- 10 燃料タンク
- 燃料タンクは、地上から給油が容易にできる位置に燃料補給口を設けること。
- 11 はしご作動油タンク
- 車両中央付近に取付け、容易に注油点検等が可能なよう上部に扉を設け、ストレーナー及びドレンコックを設けること。  
また、リヤエプロン部に油温計を取付けすること。
- 12 はしご受け支柱
- キャブ後部シャシフレームより立ち上がり材にて設け、はしご支持点には、硬質クッションゴムローラーを取付けすること。
- 13 基部危険防止パンチング板
- 梯体最下段の最後部左右側面に貼付けすること。
- 14 U字配管
- リヤエプロンにU字配管を設け、圧力計及び流量計を付近に取付けすること。  
また、リヤエプロンには、U字配管用ドレンを設けること。
- 15 はしご用ホース

梯体第1段（最上段）に設けたホース固定パイプ及び固定短配管の間の長さで、それぞれとネジ式にて結合し、常時ベルトにて固定が可能なものとする。

#### 16 自衛噴霧装置

車両左右側面に各3箇所、バスケットに2箇所、衝突式噴霧装置を取り付けすること。なお、車体の噴霧装置は、ポンプ配管及びU字配管からの送水により放水できるものとし、操作SWを左右ポンプ室、リヤエプロンに設けること。

また、バスケット用については、梯体ホースの送水により、放水できるものとし、バスケットにバルブを設けること。

#### 17 緩降用フック

梯体先端部にスローダンフックを取付けすること。

#### 18 車輪止

左右側面から容易に取出しが可能な位置にブラケットを設け取付け収納すること。なお、右側面はキャブ後部扉下ワイドステップ内に収納すること。

#### 19 消火器

消火器を基部操作台の前面に取付けすること。

#### 20 車外無線送受話器

車体左右に埋め込み式で取付けし、その付近には、無線機用外部スピーカーを取付けすること。

※位置等別途指示

#### 21 左右ポンプ室上部煽り

ポンプ室上部には赤色点滅灯、作業灯及び標識灯取付け用の煽りを設けること。

#### 22 走行用灯火類

ナンバープレート用ブラケットと併せてリヤエプロンに取付けすること。

#### 23 メッキ仕上げ

手摺などメッキ可能なものは、すべてクロームメッキを施すこと。

#### 24 文字記入

文字は、すべて左から右書きとすること。車両納入前に、ステッカーの剥がれ等がないことを確認し、使用後もステッカーの剥がれが発生しないような貼付けとすること。※詳細は当本部が別途指示する。

##### (1) キャブ左右

キャブ後側ドアに当本部が支給するロゴマークを貼付し、後側ドア窓枠下側に「吹田市消防本部」、フロントドア下部に「南L2」（白色反射カッティングシール、丸ゴシック文字、影なし）を表示すること。

※詳細別途協議

##### (2) 車両正面

グリル上部右側に「吹田消防」（白色反射カッティングシール、丸ゴシック文字、影なし）、グリル上部左側に「南L2」（白色反射カ

ッティングシール、丸ゴシック文字、影なし)を表示すること。

※詳細別途協議

(3) 車両後部

はしご基部後方化粧板に、「吹田市消防本部」、「SUITA FIRE DEPT.」、「OSAKA」(白色反射カッティングシール、丸ゴシック文字、影なし)を表示すること。

また、当本部が指示する位置に「南L2」(白色反射カッティングシール、丸ゴシック文字、影なし)を表示すること。

※詳細別途協議

(4) 車両左右側面

アルミシャッター全面及び車体には「SラインUITA. F. D.」(白縁塗りつぶし無し反射カッティングシール、デザインあり)を表示すること。

また、シャッター上部煽り部に設けた標識灯には「南署」(黒色カッティングシール、丸ゴシック文字、影なし)を表示すること。

(5) キャブ上部

「吹田南L2」(白色カッティングシール、丸ゴシック文字、影なし)をできる限り大きく表示すること。

※詳細別途協議

(6) バスケット底面

当本部が指示するデザインを表示すること。

(7) 資機材

当本部が指定する資機材に、「S」(デザインあり 別途指示)を最上段に、以下「吹田消防」、「SUITA FIRE DEPT.」、「OSAKA」(丸ゴシック文字)を3段書きカッティングシール等で文字入れすること。

25 モーターサイレン・スイッチ

キャブ天井部にモーターサイレンを1個取付け、助手席側に足踏み式一段スイッチを設け、運転席側の操作が容易にできる位置に押しボタン式二段スイッチを取付けること。

26 電子サイレンアンプ

大阪サイレン社製「TSK-D152 Mark-D1」を取付け、マイクロホンMC-D1L(S)を接続し、サイレンとマイクが同時使用できること。

また、後席にもマイクジャックを設けマイクロホンが使用できるようにすること。※位置等は別途指示

27 赤色警光灯

キャブ上部の中央部分左右に台座を設け、ウイレン社製9LMT510SAを取付けすること。(合計2か所)

28 赤色点滅灯

(1)フロントグリル上部左右にウイレン社製WIONSMBR24を取付け

すること。(合計2か所)

(2) フロントグリル内上段左右にウイレン社製WIONBR24を取付けること。(合計2か所)

(3) 後方(背面) エプロンにウイレン社製CS600LT24(保護カバー付)を取付けること。(合計2か所)

(4) 左右ポンプ室大型シャッターボックス上部煽り部にウイレン社製M6FR24を取付けること。(合計2か所)

(5) 梯体最下段最後部左右にウイレン社製CS600L24(保護カバー付)を取付けること。

なお、基部操作部側は基部操作台で入切が可能な単独SWを取付けること。

## 29 作業等

点灯、消灯SWはキャブ内に設ける他、車外に単独SWを設けること。

左右ポンプ室大型シャッターボックス上部煽り部にウイレン社製M6Z24を取付けること。(合計2か所)

## 30 路肩灯

左右後輪前方にバス型LED灯を取付ける他、後輪照射灯を設けること。

※作動方法は別途協議

## 31 後端灯

車両左右の後端部に後端灯を取付けること。

## 32 照明灯

(1) 梯体最下段左右側面にアングルを設け、照明灯(フラッシュボーイR保護カバー付)を取付けること。操作は、基部操作台に有線リモコンを取付ける他、無線リモコンにて操作可能なものとする。

(2) 左右ポンプ室大型シャッターボックス天井部及びバスケットにLEDランプ45W相当(保護カバー付)を取付けること。(合計3か所) なお、各照明装置には、照明灯付近に入切SWを設ける他、バスケット照明灯のみ基部操作部で入切可能なSWを追加しておくこと。

## 33 ジャッキ、ステップ灯

ジャッキ、ジャッキカバー及びステップ付近にそれぞれ照明灯を設けること。なお、ジャッキ及びジャッキカバー灯はジャッキ作動時に点灯するものとし、ステップ灯にあつては、キャブ内BOX灯SW等と連動させること。

## 34 タイヤフェンダーステップ

車体側面からターンテーブル床板へアクセスができるよう、後輪タイヤフェンダー付近に埋め込み式ステップを設けること。

また、その際有効に活用できる手摺りを付近に設けること。

## 35 牽引フック

車両前後に外れ止め付きのけん引用フックを埋め込み式で取付けること。

また、かけ縄(ワイヤー)等が接触する箇所については、保護板等を貼付ける他、許容荷重を表記すること。

### 36 無線電話装置

当本部が所有するはしご車（型式:PK-FR2PPWA改）から無線電話装置等を取外し、当はしご車に取付けること。

また、当本部及び当本部の指定する指令端末装置工事業者と調整し適正に取付けること。

### 37 指令端末装置

当本部が所有するはしご車（型式:PK-FR2PPWA改）から指令端末装置等を取外し、当はしご車に取付けること。

また、当本部及び当本部の指定する指令端末装置工事業者と調整し適正に取付けること。

なお、艀装業者は、無線電話装置・指令端末装置を適正に取付けるため各業者に作業日程の調整を行うとともに、事前に電源及び配線等について打合せ及び調整をすること。

## 第17 補助規格取付品及び取付装置

	品名	規格及び型式	数量	
1	ポンプ圧力計、連成計		各 2	
2	エンジン回転計、油温計		各 1	
3	赤色警光灯	<b>【キャブ上部】</b> ウイレン社製 9 L M T 5 1 0 S A 保護カバー付 （合計 2 か所）スピーカー付セパレート型 <b>【フロントグリル上部】</b> ウイレン社製 W I O N S M B R 2 4 （合計 2 か所） <b>【フロントグリル内】</b> ウイレン社製 W I O N B R 2 4 （合計 2 か所） <b>【後方エプロン】</b> ウイレン社製 C S 6 0 0 L T 2 4 保護カバー付 （合計 2 か所） <b>【左右ポンプ室上部煽り部】</b> ウイレン社製 M 6 F R 2 4 （合計 2 か所） <b>【梯体最下段最後部】</b> 保護カバー付 ウイレン社製 C S 6 0 0 L 2 4	1 式	
4	電子サイレン	<b>【サイレンアンプ】</b> T S K - D 1 5 2 ・ M a r k - D 1 （ 5 0 W ） マイクロホン M C - D 1 L （ S ） × 1 後席マイクロホン D X - 2 5 6 S × 1	1 式	
5	照明灯	<b>【梯体最下段用】</b> 保護カバー付 佐藤工業製フラッシュボーイ R （合計 2 か所）予備バルブ黄色 × 2 <b>【バスケット用、ポンプ室天井部】</b> 保護カバー付 L E D ランプ 4 5 W 相当 M Y S - 7 5 L P （合計 3 か所）	1 式	
6	後退警報器	切断スイッチ付き	1 式	
7	標識灯	南 署【黒丸ゴシック】と記入	2 式	

8	電動サイレン	モーターサイレン（足踏み・ボタン式SW-5） 大阪サイレン社製7型、サイレンリレーSS615	1式	
9	ポンプ操作装置	液晶ディスプレイ式 （真空計、ポンプ回転計、流量計、積算流量計含む）	1式	
10	キャブチルト装置	電動式（安全装置含む）2mコード付	1式	
11	オイルパンヒーター	車外マグネットコンセント、15mコード	1式	
12	不凍液注入装置	色水兼用装置	1式	
13	作業灯	【左右ポンプ室上部煽り部】 ウイレン社製M6Z24（合計2か所）	1式	
14	車外無線機送話機取出口	蓋裏側ホワイトボード、ペン付	2式	
15	自衛噴霧装置	車両側面各3か所、バスケット2か所（合計8か所）	1式	
16	路肩灯	バス用A型LED式（後輪照射灯PY9268RS含む）スモール連動	2式	
17	後端灯	CE221（車体最後部左右各2箇所）	1式	
18	ジャッキ部照明灯	PY-9268RS リヤゲージランプ連動	4式	
19	ジャッキカバー灯（黄）	LED式MYSS-L9-Y（各ジャッキ3）	4式	
20	ステップ灯（白）	当本部が指示する箇所LED式MYSS-L9-W リヤゲージランプ連動	1式	

#### 第18 補助規格附属品

	品名	規格及び型式	数量	
1	吸管	75mm×10m×1 ライフレックス吸管 75mm×2m×5 ライフレックス吸管	1式	
2	吸口ストレーナー		2式	
3	吸管ストレーナー	ワンタッチ式	2式	
4	吸管ちりよけ籠	樹脂製	2式	
5	吸管まくら木	樹脂製	2式	
6	吸管ロープ	10mm×10m	2式	
7	消火栓金具	75mmメスネジ×65mm差込メス ヨネPR75	2式	
8	中継用媒介金具	65mmメスネジ×65mm差込メス	2式	
9	消火栓開閉金具	地上式、地下式（0.8m）各1	1式	
10	吸管スパナ		2式	
11	管そう	YONE eノズルホルダーPEH-65K×2、PEH-40A×1	1式	
12	ノズル	AKK三段切換（セットアップキット含む）×2 23mm、26mmノズル各1	1式	



13	放口媒介金具	65mmメスネジ×65mm差込オス	4式	
14	とび口	東消型TS-6027 1800mm	2式	
15	金てこ	φ25×800	1式	
16	剣先スコップ		1式	
17	車輪止	硬質ゴム製(黄色)	2式	
18	消火器	自動車用(ABC粉末6kg型)	1式	
19	ポンプ工具	グラウンド用、キャップスパナ	1式	
20	ホース	【65mm】 キンパイ製カラーホース・リング締め 使用圧1.6Mpa、20m 金具アルミ合金製(ホース同色保護リング付) 綾織・袴(白40cm)	30本	
21	はしご用ホース	【梯体用】最上段用 65mmネジメス×ネジメス(放水銃～結合部まで)×2 【はしご用】 65mmネジメス×差込メス(20m)×2	1式	
22	分岐管	2コック65mm用(AC)×1 2コック40mm用(AC)×1	1式	
23	タイヤチェーン	後輪シングル	1式	
24	ホースブリッジ	コンパクトブリッジCB450	1式	
25	牽引ワイヤー	14mm×5m	1式	
26	照明器具	【発動発電機】ホンダEU9i、28is(カバー付) 【投光器】ヤマハ軽量2焦点型可搬式投光器(信号器付) 【三脚】E-028用 【コードリール】E-028用30m、発電機接続ケーブル含 ※蓄光ストライプケーブル仕様	1式	
27	ジャッキ敷板	合成樹脂製	4式	
28	安全ベルト	1本つり、U字つり兼用	4式	
29	耐電具	【耐電衣】一般型耐電衣7000V対応 YS-121-1-6×2 【耐電ヘルメット】黄色×2 【耐電ズボン】YS-122-1-3×2 【耐電長靴】YS-111-9-7(27cm)×2 【耐電手袋】YS-101-22×2 YS-103-13-4×2 【検電器】HSS-6B×1 【耐電フック棒】×1	1式	
30	斧	柄グラスファイバー製	1式	
31	ホースカバー	資機材用カバー含む ※ネーム入り	1式	

### 第19 はしご関係特殊取付品及び附属品

	品名	規格及び型式	数量	
1	油圧計	主回路用	1式	
2	傾斜角度計	電子式・全方向型（キャブ内取付）	1式	
3	水準器	気泡型・全方向型（支持フレーム部）	1式	
4	警報ベル及びランプ	使用範囲、荷重不適時作動	1組	
5	はしご姿勢表示装置	デジタル及び画像（基部）、デジタル（バスケット）	1式	
6	はしご使用時間計	キャブ内	1式	
7	風速計	計測部（はしご先端）、表示部（基部）	1式	
8	旋回基準指針	はしご支柱部	1式	
9	インターホン	基部、バスケット	1式	
10	はしご先端表示灯	バスケット	2式	
11	放水銃	バスケット用圧力計付 65mm短管そう（ダブコンノズル付）	1式	
12	タイヤ敷板		4式	
13	作動油こし器		1式	
14	グリスガン	はしご用	1式	
15	マイクスピーカー	バスケットインターホン用	1式	
16	車高計測棒		1式	
17	かぎ付きはしご	チタン製3.1m大鈎ワンタッチ式MTL-131	1式	
18	はしご控え綱環	最上段先端部付近取付け	2式	
19	はしご控え綱	ロープ12mm・25m・カラビナ付き	2式	
20	振り式角度計	梯体最下段後部取付け	1式	
21	はしご用ホース収納BOX		1式	
22	操作台保護屋根	塗色（骨組 蛍光黄色、その他 ボディ同色）	1式	

### 第20 特殊取付品及び附属品

	品名	規格及び型式	数量	
1	牽引フック	前後滑り止め付き 耐荷重表示	1式	
2	広報用装置	<b>【本体】</b> パイオニア製 DEH970付属品込 <b>【付属品】</b> 電子サイレン接続コード（ステレオモジュール用で抵抗なし） 記憶媒体SD4GB以上（上記本体で使用可能なもの） ※アンブラスピーカーからの音声出力可能なもの。	1式	

3	エンジンカッター	【本体】 K-970レスキュー（専用工具含む） 【替刃】 鉄鋼用2箱	1式	
4	ホースバック	※ネーム入り 赤尾製 ホース収納袋 ヨネ製 プロジェクトガン用収納袋	1式	
5	スタンドパイプ	単口引上715mm差込L字接手ACエルボ離脱式	1本	
6	特殊ノズル	クアドラフオグノズル	2式	
7	特殊ノズル用ホース	【40mm】 キンバイ製カラーホース・リング締め 使用圧1.6MPa、20m 金具アルミ合金製（ホース同色保護リング付） 綾織・袴（白30cm）	40本	
8	消防章	150mm	1式	
9	吸水用ホース	65mm×5m(白)キンバイ使用圧1.6MPa×2 65mm×3m(紫)キンバイ使用圧1.6MPa×1	1式	
10	吸管引上金具	ヨネPR75	1式	
11	吸管用器具	スーパーシング	1式	
12	空気呼吸器	【本体標準セット】※サイズ別途指示 ドレーゲル製 PSS AirBoss×4 （レギュレーター接続保護キャップ付き） 【付属品】 レギュレーターホルダー×4 D-ring×16、BG1000ホルダー×4 パラートホルダー×4 ドレーゲル製 FPS7000PEPDM(M)×4 面体収納バッグ（青）×12、 アイピースカバー×12、カバーグラス×12、 くもり止め、面体吊下用フック×4	1式	
13	空気ポンペ	エアウォーター製ブルネッカー530CⅢA90°	10本	
14	簡易呼吸器	パラート5510×2、ショルダーバッグ×1	4式	
15	携帯型警報器	ドレーゲル製ボディーガード1000 （ストラップ付き）	4式	
16	消火ブランケット	FIRE ISOLATOR Lサイズ 【オプション】Flood Guard F （6m×9m包囲可能数）	1式	
17	媒介金具	65mm差込メス×65mm差込メスAC 65mm差込オス×65mm差込オスAC 65mm差込メス×40mm差込オスAC×3	1式	
18	携帯拡声器	ノボル製TS-513R（ホルダーNZ-303付）	1式	
19	木ハンマー	径75mm	1本	
20	ストップバルブ	YONE製 BO-65、BO-40	1式	

21	クリッパー	絶縁式 切断能力7mm以上 BC-600FN	1本	
22	万能斧	ミニ弁慶 キャブ取付け	1本	
23	角スコップ	幅250mm	1本	
24	訓練旗	黒文字「訓練」ポール付	1本	
25	サルベージシート	3m×3m 収納袋付 ※ネーム入り	2式	
26	水損防止用ポール	丸喜(株)製 12尺2段 収納カバー付	8本	
27	ガソリン携行缶	消防法適合品 5ℓ鋼製ネジ式 GT-5 500cc容器缶BT-500×3	1式	
28	ホースバンド	マジックテープ式×5 OH-1型バンド×5 ダイコープロダクト製ホース結束ベルトBE-007×6	1式	
29	布バケツ	10ℓ	5式	
30	携帯ライト	ハタヤLED防爆防雨型 PEP-03D ペリカンキングライト ※予備バルブ2球付	2式	
31	バックモニター	後退時、電源ON設定機能付	1式	
32	ドライブレコーダー	Driveman PS-2 タイプ2 (SD脱着式モデル) SDカード128GB×2、HDMIケーブル×1 ACアダプター×1、専用複合ソケット×1 PLフィルター×1	1式	
33	安全誘導灯	ポータ工業製 RKC-BR9	2本	
34	セフティーコーン	伸縮コーン ポータ工業製 PCJ-70RS (矢印板兼用)	4式	
35	反射チョッキ	株式会社ナカネ製 カスタムメイドベストB 【吹田消防】と背中に記入 (吹田仕様赤色)	4着	
36	グラスマスター	WGM-3 サクラホース (株)	1式	
37	軽量滑車	TR-300	3個	
38	熱画像直視装置	FLIA K1	12式	
39	明示ステッカー	(株)寺田美研製 吹田市消防本部仕様 大、中、小 (各50)	1式	
40	エッチングプレート	車両長、幅、高さ、総重量、定員、登録番号、最小 回転半径、リヤオーバーハング、納入年月記入	1式	
41	ロープバック	ペトル バケツS41Y35L×2 マウンテンダックス ロープバックIIオレンジ×2	1式	
42	救助用縛帯	藤倉航装製 ベストスリングAZ1030-1	1式	
43	災害現場用トイレ	プラダントイレ (便器) 100回分セット ポップアップテント含む	1式	

44	収納コンテナBOX	仕様に記載する用途サイズ	1式	
45	収納RVBOX	ポンプ室上部中央で使用するサイズ×3	1式	
46	乾電池	積載品に必要とする電池	1式	
47	ステンシルプレート	「吹田消防」、他2種類別途指示 2.0cm角 丸ゴシック文字 ※耐久性に富むものとし、曲面对応可能なもの。	2式	
48	補修用ラッカー	スプレー式及び缶入り	1式	
49	水槽用バールキー		1式	
50	弁慶		1式	
51	吹田市専用消火栓キー		1式	
52	検電器	長谷川電機工業 高低圧交流用検電器	1式	
53	レーザー距離計	BOSCH GLM40 専用保護収納ケース付き	1式	
54	調光偏向サングラス	LST-10B 収納ケース付き	3式	
55	ガス検知器	RX8500 乾電池ユニット、アルミトランクケース、浮子式ガス採集器 (8m)	1式	

#### 第21 車両特殊取付品及び附属品

	品名	規格及び型式	数量	
1	エアコンディショナー		1式	
2	音声アラーム	音声 (左折・後退) 切断SW付	1式	
3	フロアーマット	前後	1式	
4	サイドバイザー	前後左右	1式	
5	メインスイッチ	バッテリー用 キャブ内	1式	
6	ブースターケーブル	24V用	1式	
7	スペアキー		3本	
8	ドアエッジ	全ドア	1式	
9	座席カバー	飛鳥車体制、全席	1式	
10	非常用信号具	三角停止板、発煙筒 (シヤシ取付品)、懐中電灯 (株)オム電氣製 (BT-L7678G-A)	1式	
11	タイヤゲージ		1式	
12	点検灯	LED式100V用5m	1式	
13	フォグランプ		1式	
14	サイドミラー	ワイドビュー仕様 助手席電動格納式	1式	
15	隊長席用後方確認ミラー		1式	

16	インバーター		1式	
17	工具	工具箱付KTC SK031S	1式	
18	プレセット型トルクレンチ	KTC GW300-04	2式	
19	マップランプ	助手席、後部座席付近×2 LED式	1式	
20	スペアタイヤ	ホイール付きマッド&スノー	1本	
21	ジャンプスターター	大事工業DC12/24V対応 MP-2	1式	
22	小型充電器	WCMXS 50 JP_CTEK	1式	

## 第22 備考

- 1 発注台数（車両リサイクル費用含む） 1台  
 ※自賠責保険及び重量税については当本部で用意するもの。
- 2 廃棄車両の引取り及び処分 1台  
 更新車両納車後、現在使用しているはしご車（型式：PK-FR2PPWA改）を引取り、原則として解体、廃棄処分すること。廃棄車両の引取り日程及び場所については、後日指示する。  
 また、業者において、車体の名称表示を確実に消去するとともに、赤色灯、サイレン等の解体撤去を行い抹消登録の手続きを行うこと。前記手続き完了後は、直ちに当本部へ抹消済の登録事項証明書の写真及び解体後の写真データを電子メールで添付送信しすみやかに両原本を提出すること。  
 なお、上記引取り及び処分に関する手順に変更が生じた場合は、別途協議のうえ当本部の指示に従うこと。

以上